

平成17年3月13日

会員 各位

つつじが丘統一自治会  
会長

### 第30回 つつじが丘統一自治会定時総会開催のご案内

桜便りが待ち遠しい今日この頃、会員各位におかれましては、益々ご健勝の事と心からお喜び申し上げます。

さて、第30回つつじが丘統一自治会定時総会を下記要領にて開催いたしますので、ご多忙のことは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご出席賜りますようご案内いたします。

#### 記

1. 開催日時 平成17年4月3日(日) 午前9時30分～12時
2. 開催場所 つつじが丘ふれあいセンター
3. 議 題  
議案第1号 平成16年度会務報告について・・・・・・(1P～5P)  
議案第2号 平成16年度決算報告について・・・・・・(6P～8P)  
議案第3号 平成17年度活動方針案について(9P～16P)  
議案第4号 平成17年度予算案について・・・・・・(17P～18P)  
議案第5号 平成17年度役員改選について

その他

- \* 会場準備の都合上、総会への出欠を巻末の用紙に記入して平成17年3月24日(木)までに、各班班長宛てご提出ください。なお、欠席の場合は、委任状にも記入のうえ併せてご提出ください。

**巻末の出欠表及び委任状をご記入されましたら、資料本紙から切り離して各班班長へ提出願います。**

# 議案 第 1 号 平成 1 6 年度 会務報告

## 【総 括】

大型台風の相次ぐ襲来による土砂くずれ・水害、新潟中越地方の大地震、スマトラ沖大地震での津波による被害等の自然災害、イラクの人質殺害事件など、暗い事件が目立った一年でありました。

わが町つつじが丘も平成 17 年度には自治会創立 30 周年の節目を迎えます。平成 16 年度は、自治会規約の運用の理解・定着を活動のメインテーマとしてまいりました。また、つつじが丘統一自治会創立 30 周年事業は、30 周年記念事業企画実行委員会の方々が、また防災用品の備蓄に関しましては、防災備蓄諮問委員会の方々が、其々依り専門的な論議を重ねていただき、自治会役員会に提言して戴きました。

平成 15 年度自治会総会において改正されました自治会費の徴収方法に関し、四半期毎の徴収を会員の皆様に遵守して戴きました。

福祉問題に関しましては、福祉委員の活動が平日では制限があるため、多くの課題を先送りされることとなりました。福祉活動として何が求められているのか、自治会として何が出来るのか、議論を継続して行く必要があると思われまます。

以下、事務局専門部の活動報告を含め総括といたします。

## 事務局専門部の活動に関して

今年度は、事務局専門部制度が前年度に確立されたことにより、各事業のマニュアルに則り、事業を推進してまいりました。

### 1. 環境対策について

基本的には従来活動を踏襲し環境対策を実施しました。以下、各項目別に報告致します。

#### ① 団地内清掃、公園清掃、市民清掃

各单位自治会の会員の積極的・献身的な協力により実施できました。また、つつじが丘公園の遊歩道の清掃及び新池周辺の清掃を年 2 回の市民清掃日に全単位自治会が持ち回りにて実施することにいたしました。

草刈機、チェーンソーは、刃の取替えなどのメンテナンスを行い、来年度以降の使用に備えました。

#### ② ゴミステーション

分別ゴミ収集コンテナが不足している箇所があり、増量を市に要請いたしました。

クレゾール消毒剤使用による副作用などの毒性につき、市に対応について見解を出すよう要請いたしました。市から今後、クレゾールの配付を中止し、不要となったクレゾールを回収するとの回答がありました。今後ゴミステーションの清掃は水のみにて行い、悪臭などはゴミの出し方を工夫するなどにて対応することになります。

③ 犬の糞、タバコのポイ捨て

回覧及びタイムズつつじが丘紙面を通して会員のモラル啓発を促しました。大半の会員の方々には、犬の糞、タバコのポイ捨てについてご理解をいただきご協力をしていただいておりますが、未だ一部の方のご協力をいただいております。会員各位のさらなるご理解とご協力が必要です。

④ 空地の草刈

例年通り、不在地主に対し、文書にて草刈の協力要請を実施しました。草刈の要請に応じない地主には、火災予防条例により行政より地主に通告し、枯れ草の除去などの必要な措置を命じてもらうこととなりました。

⑤ 八木山通りの街路樹の落ち葉対策

近隣会員より毎年多くの苦情が寄せられており、再三にわたり行政側に剪定、清掃に関する要望をしてきました。今年度は、一斉剪定の年度にあたりましたが、枝先を伐るに止まり、根本的解決には至りませんでした。

2. 防災対策について

東海地震や東南海地震の発生は、我々住民にとって直接被害をもたらすだけに絶えず不安の種となっています。今年度もこのような大規模災害への対応を重要課題とし自治会として防災備蓄の取り組みを行うとともに、防災訓練の充実に努力してきました。以下、各項目について報告いたします。

① 防災用品の備蓄

昨年度に立ち上げられた防災備蓄諮問委員会での提言を受けて、自治会役員会にて論議を重ね、災害直後の人命救助に必要な最小限の機材を購入し、各単位自治会（各防護分団）ごとに配備することといたしました。

② 防火・防災訓練

従来通り夏に防火訓練、秋に防災訓練を行いました。防護団規定が新たになり、賄い班が設けられましたので、防災訓練の一つとして初めて炊き出し訓練も実施いたしました。直前の新潟中越地震の被害報道に接しているだけに関心も高く、多数の方が参加されました。

③ 防犯灯・消火設備

今年度も補修を中心とした維持管理を行ってきました。

バス通りの街路灯については、街路樹が生い茂って照明が遮られ暗いため、新設及

び取り付け高さを下げ照度を上げる等を市に申し入れ、一部実施されました。

#### ④ 違法駐車・迷惑駐車

一昨年、昨年と同様に会員のモラル啓発のための文書を回覧いたしました。つつじが丘全体としては依然として改善されてはませんが、個別（単位自治会）に視た場合、昨年に比べ顕著に改善されたところもあり、単位自治会としてもきめ細かなモラル啓発が必要かと考えます。

今年度、犯罪被害で特に目立ったのが空き巣被害と車両盗難が 9 月に集中して発生したことです。当つつじが丘が犯罪者に狙いやすい場所として写っているものと思われます。犯罪者にそうした意識を払拭させるためには、会員全員が真剣に自衛策を講じるとともに、近隣との親睦を深めお互いに協力していくことが重要と思われます。

### 3. 文化、体育対策について

文化、体育対策についても昨年度と同様、従来からの行事の継承を中心に活動を進めました。以下、各項目に従い、報告いたします。

#### ① 盆踊り

昨年度と同様、一日のみの実施と致しました。天候にも恵まれ大勢の方に参加して頂き、ますます盛況ではなかったかと思えます。櫓の組み立て・撤去は、今年度もボランティアを募集し協力をしていただきました。昨年の問題点でありました、小学生の帰宅時間は、小学校 PTA の方々と事前に話し合いを持ち、帰宅のお知らせする時間を決めたことにより解決できたかと思われます。

#### ② 文化的行事

今年度は、女性会の主催による講演会が開催され、多くの会員の参加を得、好評を頂きました。他の認可団体等もこのような行事の企画があれば、後援していきたいと思えますので申し出をお願いします。

#### ③ 夏まつり、市民運動会、新春の集い

昨年同様、まちづくり協議会と協力し行いました。「八木山健康ウォーク」は、市民運動会に代わる行事として 3 回目を数え、途中であいにくの天候となりましたが、多数の参加があり、定着した感があると思えます。

### 4. 福祉対策について

福祉対策については昨年度の活動を踏襲し行ってまいりました。役員が総入れ替えになる現状では、現行事業中心の活動の打破は難しく感じました。

#### ① ボランティアハウス「いこいのつつじ」

昨年度以前からの活動をそのまま継続し、毎週金曜日の開催時に受付を主体とした活動を実施致しました。年間 44 回を開催いたしましたが、参加者が減っていく傾

向にあり、またふれあいセンターから遠方の方の参加が少なく、自治会での回覧・いこいのつつじだよりの配布等のPR活動を行いました。

② 近隣ケア・グループ

近隣ケア・グループの年末行事をつつじが丘全町内合同で行いたいとの提案により、民生児童委員等とも協力し、茶話会を実施しました。100名近くの参加があり、盛況となりました。

③ 車椅子の貸与

回覧等によりPRしましたが、貸し出し実績は極めて少なく、更なるきめ細かなPRが必要と考えます。

福祉委員会の活動は今年度スタート当初、ボランティアハウスいこいのつつじ中心であったため、中途より原点に戻って活動すべく議論を重ねてまいりましたが、思うほどの成果は得られませんでした。現在の活動はボランティアの方々に負うところが大きく、今後高齢化社会が進むにつれ、対象者の増加に対応したボランティアの確保が難しくなることが予測されますので、体制の見直しを進めることが必要なのではないかと思われまます。

5. ふれあいセンターの管理

今年度も、施設の効率的な運用を目指しましたが有効な進展もなく現状維持に終わりました。ただ、利用率は決して低い水準ではなく、自治会の利用を除き4月～12月の平均月利用件数45件（内有料使用率60%）9ヶ月間の延べ利用者数7300人余と稼働率としてはまずまずの数字でありました。年間維持管理費の負担が大きいため有料利用者の獲得が課題となります。

備品関係が老朽化したため、使用頻度の高い機の買い替えを致しました。

また、身障者用トイレは間口が狭く利用し辛い為、改築を行政側に要望し、実現することが出来ました。

6. つつじが丘周辺地域の環境保全・整備

周辺地域の環境整備に関し以下、各項目に従って報告します。

① ハッピー東側道路の拡幅と右折車線の敷設

平成15年度総会にて報告のありました、ハッピー東側市道路鶴沼1095線道路改良拡幅事業が予想以上に遅れていたため、再度行政側に早期着工の住民要望を伝えたところ、国の補助金対象事業とのからみから国の補助事業を優先させたため、遅くなり平成16年度末（17年3月）までの完了との回答を得ました。

② 坂祝バイパス鶴沼北インターチェンジの問題に関して

平成 14 年度より提起されていた本件は、平成 15 年度総会において協議会の設立が承認されました。

本協議会は平成 16 年 8 月 29 日に第 1 回協議会を開催し、運営指針を起てました。また、松が丘・つつじが丘両自治会会員も参加し、あらためて本事業の概要につき市当局の説明及び質疑応答が行われました。(その際の議事録は平成 16 年 11 月に各班回覧済みです)

平成 17 年度以降も引き続き会員各位のご理解をいただくため、まとめ役、窓口として本協議会を継続させていただきます。

#### 7. つつじが丘統一自治会 30 周年記念事業について

つつじが丘統一自治会創立 30 周年事業は、30 周年記念事業企画実行委員会が主体となり、メインテーマを福祉と環境において企画書立案に向け討議を重ねてまいりました。また、つつじが丘住民の方々より、ロゴマークと標語を募り、採用作品を 2 月発行のタイムズつつじが丘紙上にて発表いたしました。

# 議案 第2号 平成16年度決算報告

## 平成16年度基金・備金会計決算報告

### 1、基金の部

#### (1)自治会基金

(岐阜信用金庫鵜沼支店)

科 目	収 入	支 出	摘 要
前年度繰越金	10,100,000		
次年度繰越金		10,100,000	

#### (2)緊急災害準備金

(大垣共立銀行鵜沼支店)

科 目	収 入	支 出	摘 要
前年度繰越金	5,000,000		
次年度繰越金		5,000,000	

#### (3)福祉関連基金

(十六銀行鵜沼支店)

科 目	収 入	支 出	摘 要
前年度繰越金	8,000,000		
次年度繰越金		8,000,000	

### 2、備金の部

#### (1)集会所改修準備金

(大垣共立銀行鵜沼支店)

科 目	収 入	支 出	摘 要
前年度繰越金	660,000		
テーブル購入		357,000	スタックテーブル KTM-1860S
一般会計 雑収入へ繰入		3,000	
一般会計より繰入	300,000		
次年度繰越金		600,000	

#### (2)ふれあいセンター修繕準備金

(大垣共立銀行鵜沼支店)

科 目	収 入	支 出	摘 要
前年度繰越金	2,600,000		
テーブル購入		357,000	スタックテーブル KTM-1860S
一般会計 雑収入へ繰入		3,000	
一般会計より繰入	300,000		
次年度繰越金		2,540,000	

#### (3)緊急災害時資材購入備金

(大垣共立銀行鵜沼支店)

科 目	収 入	支 出	摘 要
前年度繰越金	1,600,000		
資材購入		1,591,800	
一般会計へ繰入		8,200	

## 平成16年度一般会計決算報告

### 3、収入の部

科 目	予 算	収 入	摘 要
前年度繰越金	4,140,233	4,635,432	
自治会費	6,348,000	6,343,000	
自治会入会金	7,000	16,000	
自治会基金利息	10,000	6,827	
自治委員報奨金	665,520	667,720	
広報誌配布手数料	1,058,000	1,063,000	
分別収集報奨金	317,400	318,900	
美しいまちづくり推進事業報奨金	190,440	191,340	
公園清掃報奨金	272,010	136,005	入金が翌半期に変更の為
自治会振興交付金	929,000	931,000	
ふれあいセンター使用料	480,000	561,680	
雑 収 入	22,397	93,505	
合 計	14,440,000	14,964,409	

### 4、支出の部

科 目	予 算	支 出	摘 要
自治会総会費	70,000	70,000	
街路灯電気費	1,800,000	1,357,229	
電 気 料	900,000	895,987	
修 理 費	900,000	461,242	
事務局関係費	1,142,000	1,012,436	
事 務 費	792,000	685,480	
会 議 費	100,000	100,000	
機関紙発行費	40,000	26,546	
自治会活動保険料	210,000	200,410	
集会所運営費	340,000	314,073	
各自治会運営費	2,116,000	2,118,000	
環境対策費	100,000	61,329	
清掃対策費	50,000	28,770	
環境美化対策	50,000	32,559	
防災対策費	575,000	522,497	
防災行事費	100,000	58,170	
地域防災費	275,000	264,327	
西町消防団賛助金	200,000	200,000	
文化体育費	610,000	584,991	
盆踊り関係費	500,000	500,000	
文化行事予備費	50,000	24,991	
新春の集い関係費	60,000	60,000	
福祉委員会活動費	150,000	25,587	

科 目	予 算	支 出	摘 要
各種団体助成金	900,000	897,000	
まちづくり協議会	300,000	300,000	
子 供 会	240,000	237,000	
シニアクラブ	100,000	100,000	
女 性 会	80,000	80,000	
近隣ケアグループ	80,000	80,000	
いこいのつつじ	50,000	50,000	
ちびっこクラブ	50,000	50,000	
地域交際費	200,000	203,531	
ふれあいセンター運営費	1,450,000	1,306,598	
維持管理費	1,400,000	1,257,058	
備品購入費	50,000	49,540	
集会所改修準備金	300,000	300,000	
ふれあいセンター修繕準備金	300,000	300,000	
30周年記念事業事務費	50,000	3,425	
予 備 費	4,337,000	106,373	
合 計	14,440,000	9,183,069	

収支残高

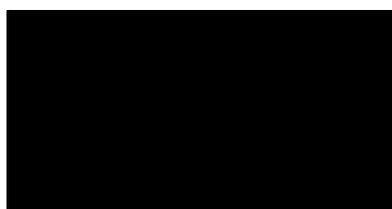
収入金額	14,964,409円
支出金額	9,183,069円
差引残額	5,781,340円

差引残額 5,781,340円を次年度に繰り越します。

以上、平成16年度会計報告に誤りのないことを認めます。

平成17年 3月 6日

会計監査



## 議案 第3号 平成17年度 活動方針（案）

昨年は日本においても又、全世界においても信じられないような災害が各地で起こり、尊い命が数多く失われてしまいました。私達つつじが丘においても、いつ災害に見舞われたとしても不思議ではない状況です。このような状況を踏まえ今年度は、特に防災・環境・福祉活動と自治会創立30周年記念事業に力をいれて各種事業を進めて参りたいと思います。以下、事務局専門部の活動方針を提案いたします。

### 1. 環境対策について

活動の基本は、従来の活動を踏襲することと致します。

- ① 団地内清掃、公園清掃は、単位自治会の自主性を尊重し周辺環境の美化推進を行います。また、空地の草刈は、従来どおりの事業内容といたします。草刈に応じない一部地主の対策も平成16年度に行いました行政（各務原市市民相談課、消防署、警察署等）との連携で実施の強化対策をします。
- ② 7月、11月の市民清掃は、まちづくり協議会と緊密な連携を取り、平成16年度にて行いました清掃範囲、人員の割り振り等を踏襲し実施いたします。
- ③ 犬の糞害、タバコのポイ捨て等は、定期的に回覧をまわし住民のモラル啓発に努めます。特に苦情の多いペットの糞の処置については飼い主と話し合う機会を設ける等、モラル向上につながるよう対策を検討していきます。
- ④ 八木山通りの街路樹落ち葉対策は、引き続き各務原市道路課に要請し街路樹の剪定等を実現させるため積極的に交渉を行います。
- ⑤ 平成17年度より4年間で上池周辺西広場等の整備が行われる事になっております。からだ全体に良いといわれるような健康公園を造るよう市に要請していきます。

### 2. 防災対策について

平成16年度にて配備いたしました防災用備品の拡充と災害発生時のマニュアル整備を主な活動テーマとします。

また、最近増加傾向にある、空き巣、車上荒らし等の窃盗被害対策を班長会議等の場を通し意見徴集し、有効な手段があれば実施することとします。

- ① 防護団組織が災害時、非常時に機能するよう、マニュアルの整備をすることとします。
- ② 防災用品の備蓄に関しては、さらなる拡充を計り、災害時に備えることとします。
- ③ 防災訓練は、つつじが丘防護団規定に則り実施することとし、初期消火を中心とした非常時に有効な訓練の実施に努めます。また、防護団組織の機能を有効ならしめることも防災訓練を実施することにより実現させます。
- ④ 違法駐車問題は、引き続き回覧で会員の自覚を促しモラル啓発に努めます。特に夜

間の「道路を車庫代わりに使用する者」については、非常時の緊急車両の通行を妨げ被害拡大の要因になる可能性があるため、班長会議等を通し論議し有効な手段があれば適宜実施することとします。

- ⑤ 防犯灯、消火設備に関しては、定期的な点検を実施し維持管理をすることとします。また、バス通りの街路灯は街路樹の陰にならないよう取り付け高さを下げ、照度を保つよう引き続き市に働きかけていきます。
- ⑥ つつじが丘集会所に設置してあります防災サイレンの音が一部地域にて聞こえづらいことから、避難勧告の遅れ等もしもの場合に差し障りが出る恐れがあり、現行の2方向スピーカーを全方向に聞こえるようなスピーカーに取替えを行います。

### 3. 文化、体育対策について

基本的には、昨年度の事業内容を踏襲いたします。

- ① 盆踊りに関しては、今年度も櫓の組み立てのボランティアを募集し協力頂くことといたしますので会員各位のご協力をお願いします。また、小学校PTA等他団体との意見調整を行い児童の参加時間について遺漏なきよう考慮してまいります。
- ② 文化、体育的行事については、認可団体主催の行事に関しては、積極的に後援いたします。
- ③ 夏まつり、新春の集い、八木山健康ウォーク等八木山まちづくり協議会主催の行事については、従来と同様つつじが丘自治会として積極的に参加し、ふるさとづくり・まちづくりに貢献することとします。

### 4. 福祉対策について

少子高齢化問題が連日マスコミに取り上げられている昨今ですが、つつじが丘においても福祉の問題は多く、一人暮らしのご老人や老夫婦だけの世帯が意外と多くなってきています。今年度はこうした方々への配慮をしながら福祉支援に力を入れていきます。

- ① ボランティアハウス「いこいのつつじ」については、現状を維持しつつ、有資格者である潜在的な新会員の加入促進策を講じます。高齢化が進む中、将来的な人員増を見越し（別紙 参考資料）今年度の施策を実施する中で解決策の論議を積極的に進めることとします。
- ② 車椅子の貸し出し制度に関しては、引き続き行ってまいります。より細かな情宣により会員への同制度の周知に努め効率的な運用を図ります。
- ③ 2006年をピークに日本の人口は減少傾向にあるといわれる昨今、つつじが丘でも子供さんの数が少なくなってきました。この少ない子供達を「地域の宝」として子育て支援も考えていきます。

今後のあり方として、現在「いこいのつつじ」は自治会の福祉委員会のもと、公募に

よりボランティアの方で実施されています。福祉を考える時、つつじが丘全体として福祉委員・近隣ケアグループ・ボランティアの方々・民生児童委員経験者等々が協力し全体的な組織を作っていく必要があるかと思えます。「いこいのつつじ」が福祉の一大拠点となって、健常者が認知症防止や健康増進に力を入れ、元気に楽しく活動をしていける事を今後の課題とし努力いたします。

#### 5. ふれあいセンターの管理・運営

引き続き施設の効率的な運用を有料利用団体への情宣を積極的に推進すると同時に、老朽化した備品等の更新を計ります。

また、身体障害者用トイレが改築されましたので、障害者の方が会場を利用出来るよう、情宣していきます。

#### 6. つつじが丘統一自治会創立 30 周年事業

昨年の第 29 回定時総会において 30 周年記念事業の位置付け及び事業骨格案の承認をいただいた後、実行委員会にて継続して検討を重ねてきた 30 周年記念事業を、新年度統一自治会役員会と共に実行計画案に沿って本事業を推進していきます。記念事業は、

- これまでの歴史を振り返り、共に喜び共に感謝する
- 地域への愛着をより深める
- より住みやすく、より魅力あるふるさと作り

を基本的な考え方に、全住民を対象とし、自治会役員の負担軽減、最小限の予算歳出を考慮しながら計画案を作成しています。なお、標語は実行委員会にて選考された最優秀作品一点を本事業のスローガンとし、同時に公募したロゴマークの最優秀作品一点と共に記念誌等にも使用していきます。今後も多くの方々に原稿依頼をはじめ、さまざまなご協力をお願いすることも多々あると思われます。その際には是非ともご協力をお願いいたします。

##### (1) 30 周年記念事業の位置付け（第 29 回定時総会資料より）

30 周年記念事業は、つつじが丘に集う住民が老若男女かかわらず、これまでの歴史を振り返り共に喜び、共に感謝するとともに、将来に向けて「自分たちの町は自分たちで作る」といった地域への愛着を高める機会とします。

福祉は、つつじが丘統一自治会においても中心的課題です。また、将来を担う子どもたちにとっても、まちづくりに積極的に関わることは「ふるさと」としてのつつじが丘により愛着が深まる機会ともなります。

更に、住環境の継続的整備は自分たちの町をより住みやすくし、魅力あるまちづくりにつながるものであるから、30 周年記念事業のメインテーマを、**福祉・環境**とし、各種の企画を構築していくこととします。

<継続案件>

坂祝バイパス鶴沼北インターチェンジ問題に関しては、昨年度に「坂祝バイパスインターチェンジ問題協議会」を立ち上げる事ができました。本協議会の「運営指針」の趣旨を大切に守りながら市当局及び周辺自治会とも連携しつつ、本件に関し積極的に話し合っています。また、市とのやりとりについて公開する機会を設けることにします。なお平成 17 年度の構成員は、平成 17 年度松が丘・つつじが丘の各単位自治会長並びに平成 16 年度各単位自治会長（有志）となります。

地域の福祉について  
つつじが丘 丁目別・世代別人口分布

(参考資料) 各務原市資料より

平成16年11月現在

丁目	世帯数	住民人数	50～59才			60～69才			70～79才			80～89才			90才以上		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1丁目	121	399	41	46	87 21.8%	26	22	48 12.0%	12	14	26 6.5%	5	6	11 2.8%	0	2	2 0.5%
2丁目	158	511	63	68	131 25.6%	41	28	69 13.5%	18	14	32 6.3%	2	13	15 2.9%	0	2	2 0.4%
3丁目	128	380	40	45	85 22.4%	33	21	54 14.2%	9	12	21 5.5%	4	6	10 2.6%	0	2	2 0.5%
4丁目	156	500	65	67	132 26.4%	47	34	81 16.2%	10	11	21 4.2%	4	8	12 2.4%	0	3	3 0.6%
5丁目	134	408	45	54	99 24.3%	39	27	66 16.2%	14	17	31 7.6%	3	7	10 2.5%	1	1	2 0.5%
6丁目	112	339	34	44	78 23.0%	27	19	46 13.6%	21	18	39 11.5%	6	5	11 3.2%	0	0	0 0.0%
7丁目	97	294	32	42	74 25.2%	33	15	48 16.3%	10	8	18 6.1%	2	5	7 2.4%	1	1	2 0.7%
8丁目	170	537	73	65	138 25.7%	41	28	69 12.8%	14	17	31 5.8%	5	3	8 1.5%	0	1	1 0.2%
計	1076	3368	393	431	824 24.5%	287	194	481 14.3%	108	111	219 6.5%	31	53	84 2.5%	2	12	14 0.4%

はじめに

1. 30 周年記念事業の位置付け

30 周年記念事業は、つつじが丘に集う住民が老若男女かかわらず、これまでの歴史を振り返り共に喜び、共に感謝するとともに、将来に向けて「自分たちの町は自分たちで作る」といった地域への愛着を高める機会とします。

福祉は、つつじが丘統一自治会においても中心的課題です。また、将来を担う子どもたちにとっても、まちづくりに積極的に関わることは「ふるさと」としてのつつじが丘により愛着が深まる機会ともなります。

更に、住環境の継続的整備は自分たちの町をより住みやすくし、魅力あるまちづくりにつながるものであることから、30 周年記念事業のメインテーマを、**福祉・環境**とし、各種の企画を構築していくこととします。

- これまでの歴史を振り返り共に喜び共に感謝する
- 地域への愛着をより深める
- より住みやすく、より魅力あるふるさと作り

テーマ【福祉と環境】

2. 企画書立案にあたっての基本的考え方

- (1) 全住民の皆さんが無理なく参加できること。
- (2) 各行事の目的を明確にし、意義あるものにする。
- (3) 役員の負担をできるだけ軽減する。
- (4) 記念事業予算は、歳出を最小限とする。

3. 30 周年記念行事の概要

- (1) 記念式典及び主行事を 10 月 30 日（日）に集中的に行う。
- (2) 定時総会での承認の後、6 月にスポーツ大会（ゴルフ）、7 月に盆踊り 9 月に音楽会を実施する。各行事においては、それぞれの同好会の協力を得て実施する。

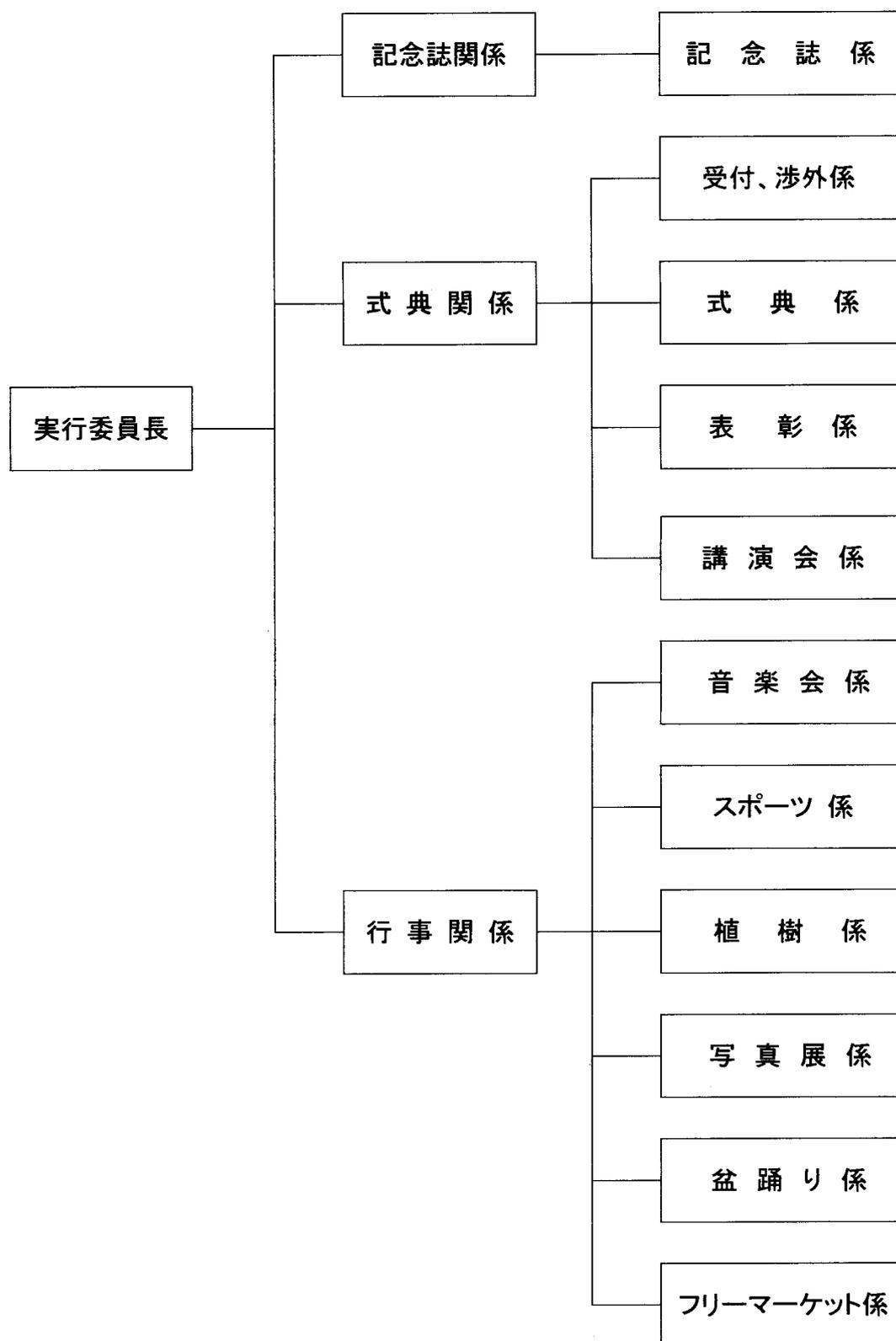
1. 実施要領

- 主 催 つつじが丘統一自治会
- 開催期間 平成17年4月～平成17年10月
- 開催場所
  - ・ふれあいセンター ・つつじが丘集会所
  - ・団地内公園（上池公園、中央公園）
  - ・鶴沼地区体育館 ・その他
- 標 語 「大きな手、小さな手、みんなでつなげばつつじの和」

○行事種目

行 事 名	開 催 日	会 場	参 加 対 象 者 協 力 者
スポーツ大会(ゴルフ)	6月上旬	ゴルフ場	全住民(自由参加) ゴルフ同好会
盆おどり	7月30日～31日	中央公園	全住民(自由参加)
音楽会	9月下旬	ふれあいセンター	全住民(希望者) 女性会
写真展	10月23日～30日	ふれあいセンター	全住民(自由参加)
フリーマーケット	10月23日	上池公園 雨天は 鶴沼地区体育館	個人・団体希望者
記念式典	表彰 (標語、ロゴマーク)	ふれあいセンター	来賓・表彰受賞者 統一自治会役員 全住民(希望者)
	記念誌発行披露		
	福祉講演会		
	記念植樹		
	10月30日	上池公園	

## 2. 組織図



## 議案 第4号 平成17年度予算案

### 平成17年度会計予算(案)

#### 1、収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
前 年 度 繰 越 金	5,781,340	
自 治 会 費	6,300,000	500円×1,050戸×12ヶ月
自 治 会 入 会 金	10,000	1,000円×入居戸数
自 治 会 基 金 利 息	6,800	
自 治 委 員 報 奨 金	662,000	均等割 25,000円×8自治会 世帯割 440円×1,050戸
広 報 誌 広 配 布 手 数 料	1,050,000	1,000円×1,050戸
分 別 収 集 報 奨 金	315,000	300円×1,050戸
美 しい まち づくり 推 進 事 業 報 奨 金	189,000	180円×1,050戸
公 園 清 掃 報 奨 金	272,010	
自 治 会 振 興 交 付 金	997,000	均等割 59,000円×8自治会 世帯割 500円×1,050戸
ふ れ あ い セ ン タ ー 使 用	480,000	40,000円×12ヶ月
雑 収 入	36,850	預金利息、その他
合 計	16,100,000	

## 平成17年度会計予算(案)

### 2. 支出の部

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要	
自治会総会費	70,000		
街路灯電気費	1,800,000	電気費	900,000
		修理費	900,000
事務局関係費	1,142,000	事務費	792,000
		会議費	100,000
		機関誌発行費	40,000
		自治会活動保険料	210,000
集会所運営費	340,000	光熱費等	
各自治会運営費	2,100,000	2,000円×1,050戸	
環境対策費	230,000	清掃対策費	150,000
		環境美化対策	80,000
防災対策費	775,000	防災行事費	100,000
		地域防災費	475,000
		西町消防団賛助金	200,000
文化体育費	740,000	盆踊り関係費	600,000
		文化行事予備	50,000
		新春のつどい関係費	90,000
福祉委員会活動費	150,000		
各種団体助成金	938,000	まちづくり協議会	300,000
		子供会	228,000
		シニアクラブ	100,000
		女性会	80,000
		近隣ケアグループ	80,000
		いこいのつつじ	50,000
		ちびっこクラブ	50,000
		上池クラブ	50,000
地域交際費	300,000		
ふれあいセンター運営費	1,550,000	維持管理費	1,500,000
		備品購入費	50,000
集会所改修準備金	300,000		
ふれあいセンター修繕準備金	300,000		
緊急災害時資材購入費	800,000		
30周年記念事業費	900,000		
予備費	3,665,000		
合 計	16,100,000		